

# やさしさ つむぐ まちづくり

## 第1期絹地区社協活動計画



ずっと地域で暮らし続けられるように、「絹に住んで良かった」と思えるように、絹地区社協（地域全員）で取り組む“ふくしのまちづくり”計画書です。

安心のために

地域生活を  
支えるために

人づくり、  
まちづくりの  
ために

### 絹地区社会福祉協議会（絹地区社協）とは？

“ふくしの視点”からまちづくりに取り組む  
住民による住民のための自主的な活動組織です。

# 取り組み内容と進め方

絹地区社協では、

「絹地区社協福祉活動計画書（平成28年度～平成30年度）」にそって  
“ふくしのまちづくり”を進めていきます。

## (I) 安心のための取り組み

### 地域で見守り活動

を実施していきます。

#### 地域で上がった課題・要望

- 独居高齢者が増えている  
→ 見守りや配食サービスが必要
- 日中独居高齢者が増えている  
→ 日中見守りや引きこもり対策が必要

#### 具体的な取り組み

見守りが必要な人の状態に応じて、“さりげない”見守りを実施します。生活の中（雨戸の開閉、照明の点灯、新聞等の受取など）での見守りや、班内回覧の時の声掛け、訪問など“できる範囲”で“継続的”に取り組めます。



#### 活動の進め方

- 1 見守りの希望調査を行います。
- 2 見守られる人と見守る人をつなぎます。
- 3 見守りの中で気付いたことを記録したり気になることがあったら連絡先に報告してもらいます。
- 4 見守り活動の振返りをして、次回に活かします。

#### 取り組みのポイント

高齢者だけでなく、隣近所の心配な人を“気にかける”程度でOKです!!

#### 年次目標(3カ年)

##### 1年目

- 取り組みのPRと説明
- 見守り希望調査
- 見守り活動開始

##### 2年目

- 見守り活動の継続
- 活動の振返り

##### 3年目

- 見守り活動の継続
- 活動の振返り
- 活動(計画)の見直し

## (Ⅱ) 生活をささえる取り組み

### 移動支援事業

を実施していきます。

#### 地域で上がった課題・要望

- 移動手段がない  
→ 有償を含めたボランティアの検討
- 商店や医療機関が遠い  
→ 買い物難民や通院難民の解消

#### 具体的な取り組み

通院や買い物など、生活上必要な外出の“足”が確保できない人のために、住民ボランティア（有償）や地域資源（福祉施設等）を活用した送迎サービスに取り組みます。



#### 取り組みのポイント

生活圏内の範囲で送迎のみのサービスを行います。

#### 活動の進め方

- 1 送迎希望の受付
- 2 登録ボランティアの調整
- 3 送迎サービス実施
- 4 実施報告、活動ポイントの付与

#### 年次目標(3カ年)

##### 1年目

- 送迎希望調査
- ボランティア、地域資源調査

##### 2年目

- 実施方法の検討
- ボランティア募集

##### 3年目

- 活動実施、活動の振り返り、活動(計画)の見直し

## (Ⅲ) 人をつくり、まちをつくる取り組み

### ふくしのまちづくり創造事業

を実施していきます。

#### 地域で上がった課題・要望

- 交流の場が減った  
→ 気軽に集える場所づくり
- 福祉やボランティアの勉強がしたい  
→ 講演会や勉強会の開催

#### 具体的な取り組み

「誰もが暮らしやすい絹地区」を合言葉に、地域内で“いま”必要となる事業や取り組みを企画、実施していきます。



#### 取り組みのポイント

多くの住民が気軽に参加できる事業を企画していきます。

#### 取り組み例

- 1 地域別昼食会やコミュニティ喫茶
- 2 福祉講演会や世代別交流会

## 絹地区社協活動計画について

どのような地域にしたいのかを決めるのも、地域に立ちはだかる課題が何かに気づくのも私たち住民自身です。法律や制度では対応できない地域課題を地域の“きずな”や“ささえあい”を基に解決していくためには、中・長期的な取り組みが必要となっていきます。

そこで、絹地区の現状や課題を話し合い、誰もが安心して暮らし続けることが出来る地域にするため、絹地区社協（地域住民）としての取り組みと、進め方をまとめたものがこの計画です。

### 地区社協 設立

- ・平成27年3月に絹地区社協を設立
- ・活動計画策定のための話し合い（絹地区全体学習会）を3回にわたり実施

### 事業開始

- ・第1期活動計画（平成28年～平成30年）に基づいて、平成28年度より事業取り組み開始
- ・第1期は「安心」「生活」「創造」をキーワードに事業実施

### 事業継続

- ・年度毎に活動の振り返りと改善を実施。次期活動計画策定へ
- ・「誰もが安心して暮らし続けられる絹地区」を実現!!



絹地区全体学習会の様子



## 絹地区社協の役割

地域課題の  
発見

課題の共有、  
話し合い

福祉活動の  
企画、実施

関係機関、  
団体の  
連絡調整

住民への  
情報提供

地域内の  
福祉意識の  
啓発

## 絹地区社協組織図



企画・編集・発行  
問合せ先

絹地区社会福祉協議会  
小山市社会福祉協議会

〒323-0827 小山市神鳥谷931-3  
TEL:0285-22-9501 FAX:0285-22-2940